

# 〈日本株〉

## 5月の展望 株式市場の焦点は経済封鎖の「出口戦略」

### 通信・半導体株も銘柄選定の参考に

日本の貿易統計では、3月輸入額の季節調整値が前月比7.2%増(2月6.1%減)と3カ月ぶりに増加した。中国からの輸入額は新型コロナウイルスの影響で2月に同47.1%減だったが、工場稼働率の回復に伴い3月は同4.5%減に縮小した。中国からの輸入減少による供給制約は改善してきたとみられる。

今後の株式市場が「本格上昇」もしくは「二番底」になるのかは、経済封鎖の出口戦略の成否にありう。主要国は5月上旬にかけて経済封鎖の部分的解除を始める。約2週間とされるウイルス潜伏期間に感染加速が確認されない場合は、解除の適用範囲が広げられ、株式市場は好反応しよう。

年初来高値を更新して新たな相場トレンドを形成し始めた銘柄がある。ただ、米国市場と同様に業種・個別銘柄で物色の温度差が出始めている。今後の銘柄選定の参考になるのは、医療・衛生関連の医薬品・化学、テレワーク関連のIT・サービス、通信量拡大の恩恵で通信・半導体、巣ごもり消費の日用品・食料品・ゲームと考える。

(4/23 田部井)

### 4月の銘柄・業種別騰落率(3/31~4/22)

#### ◆東証1部騰落率ランキング ~BEST10~

コード	社名	業種	騰落率
4680	ラウンドワン	サービス業	35.4
3697	SHIFT	情報・通信	31.9
6291	エアータック	機械	31.1
3038	神戸物産	卸売業	31.0
3962	チェンジ	情報・通信	30.5
4369	トリケミカル	化学	30.4
4686	ジャスト	情報・通信	28.2
6532	ベイカレント	サービス業	25.7
2326	デジアーツ	情報・通信	25.5
3769	GMO-PG	情報・通信	25.3

#### ~WORST10~

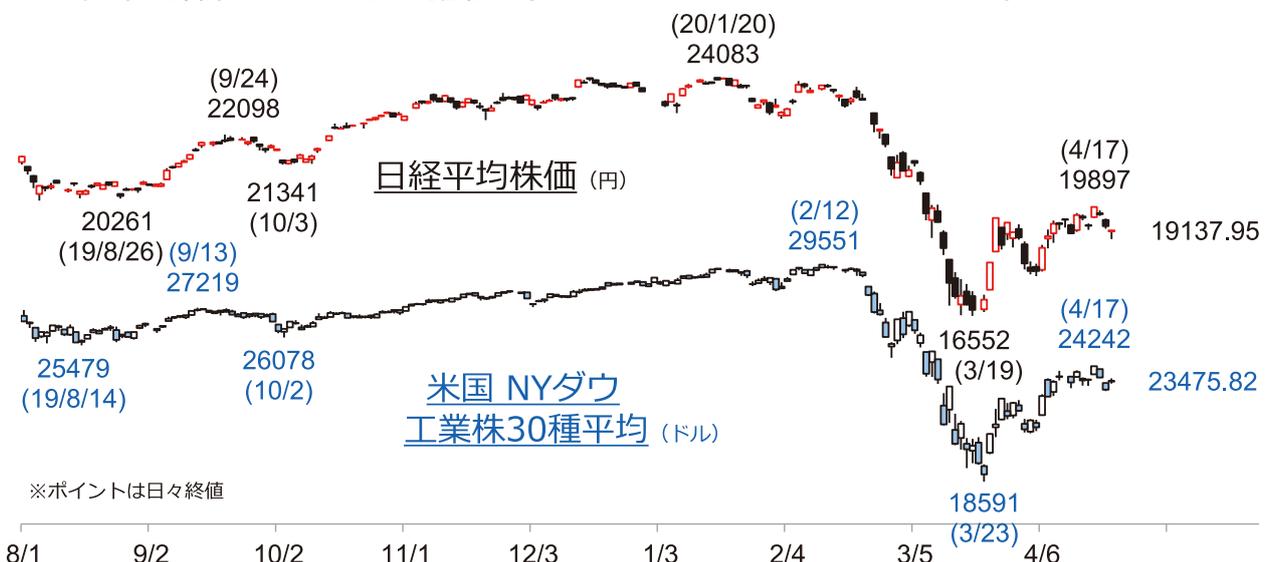
コード	社名	業種	騰落率
5901	洋缶HD	金属製品	-19.7
3672	オルトP	情報・通信	-19.1
7164	全国保証	その他金融	-18.6
8570	イオンFS	その他金融	-16.5
7752	リコー	電気機器	-14.2
6724	エプソン	電気機器	-14.0
5938	LIXIL	金属製品	-13.9
4902	コニカミノル	電気機器	-13.9
8253	クレセゾン	その他金融	-13.8
9603	HIS	サービス業	-13.0

(注) 売買代金25日平均上位5分の1を対象。  
(出所) Bloomberg より内藤証券作成。

#### ◆業種別騰落率 (%)

業種	騰落率
医薬品	4.2
情報通信	3.8
サービス	2.9
海運	1.6
電力ガス	1.2
機械	0.9
小売業	0.8
電機	0.5
精密	0.4
TOPIX	0.3
化学	0.2
陸運	-0.1
自動車	-0.6
食料品	-0.8
不動産	-0.9
銀行	-1.0
証券商品	-2.7
建設	-2.8
非鉄	-3.9
ガラス土石	-4.0
卸売業	-4.3
繊維	-5.2
鉄鋼	-8.5

### ◆日経平均株価、NYダウの推移 (日足、19年8月1日~20年4月22日)



(出所) Bloomberg データより内藤証券作成。

**銘柄  
スクリーニング**
**200日線を上回っている東証1部銘柄**
**◇株価が戻り歩調継続で、買われすぎゾーン未達の東証1部銘柄**

(選択条件)

- ・東証1部銘柄の中で株価が200日移動平均線を上回り、同線との乖離が10%以下
- ・時価総額1000億円以上、売買代金(25日平均)1億円以上
- ・前四半期または直近期末における自己資本比率40%以上
- ・RSI(相対力指数)が買われすぎゾーンとされる70%以下で、株価が戻り歩調にある銘柄の中から選択。

データは4/24現在

コード	銘柄	業種	決算期	株価	200日移動平均 (円)	乖離 (%)	自己資本 比率 (%)	RSI (14日、%)
1766	東建コーポ	建設	4月	7,710	7,042.4	9.5	52.1	66.3
1881	NIPPO	建設	3月	2,365	2,236.5	5.7	66.7	57.3
1950	日本電設	建設	3月	2,222	2,190.0	1.5	66.7	63.5
2004	昭和産	食料品	3月	3,305	3,111.5	6.2	50.3	63.6
2281	プリマ	食料品	3月	2,398	2,342.2	2.4	42.8	55.1
2811	カゴメ	食料品	12月	2,755	2,646.1	4.1	53.9	50.4
4185	JSR	化学	3月	1,923	1,876.5	2.5	56.7	51.4
4403	日油	化学	3月	3,635	3,600.0	1.0	75.0	68.5
4452	花王	化学	12月	8,662	8,383.9	3.3	51.9	42.9
4503	アステラス	医薬品	3月	1,752	1,693.3	3.5	66.2	59.1
4527	ロート	医薬品	3月	3,275	3,103.3	5.5	66.9	67.8
4530	久光薬	医薬品	2月	4,940	4,921.6	0.4	80.9	60.9
4626	太陽HD	化学	3月	4,195	3,937.1	6.6	48.1	63.2
4812	ISID	情報・通信	12月	4,210	3,930.6	7.1	62.8	68.8
5947	リンナイ	金属製品	3月	8,100	7,651.9	5.9	70.0	61.0
6146	ディスコ	機械	3月	23,460	22,422.4	4.6	82.2	68.2
6273	SMC	機械	3月	48,000	45,848.3	4.7	89.3	58.0
6406	フジテック	機械	3月	1,532	1,514.4	1.2	55.2	67.2
6645	オムロン	電気機器	3月	6,140	5,944.0	3.3	70.0	68.8
6754	アンリツ※	電気機器	3月	2,119	2,037.9	4.0	68.0	67.9
6861	キーエンス	電気機器	3月	37,180	35,068.1	6.0	96.7	63.5
6965	ホトニクス	電気機器	9月	4,685	4,268.1	9.8	79.4	64.3
7476	アズワン	卸売	3月	9,430	9,225.3	2.2	72.1	58.8
7817	パラベッド	その他製品	3月	4,340	4,239.9	2.4	75.6	56.8
7966	リンテック	その他製品	3月	2,322	2,279.8	1.9	67.1	60.0
9064	ヤマトHD	陸運	3月	1,885	1,848.0	2.0	50.4	46.7
9532	大ガス	電気・ガス	3月	2,097	1,984.7	5.7	46.7	66.0
9663	ナガワ	サービス	3月	6,930	6,371.6	8.8	92.6	66.8

(注) 自己資本比率は前四半期または直近期末実績。200日移動平均、同乖離率、自己資本比率、RSIは少数第2位を四捨五入。

※アンリツは貸株注意喚起銘柄。

(出所) 決算短信、Bloombergデータなどをもとに内藤証券作成

(北原)

## ～ポイント

- I. 最注目はワクチンと治療薬の開発動向
- II. オンライン診療、遠隔教育の進展に注目
- III. 新サービスが大量に生まれることが予想される

## I 最注目はワクチンと治療薬の開発動向

## 1. 日本でワクチンの製造体制は整いそうだ

新型コロナウイルスに関連した銘柄の中で注目度が高いのは、ワクチンと治療薬だろう。感染した場合に重症化しないことを目的としたワクチンと感染後の治療薬が開発されれば、インフルエンザのように注意は必要だが、経済活動に大きな制約が生じる可能性は低くなる。

ワクチンも創薬と同様な容易ではないが、アンジェス(4563、継続企業の前提に関する重要事象あり)が大阪大学など共同で開発中。ワクチン製造に関しては、タカラバイオ(4974)が量産体制を整えたと報道されている。

## 2. 回復患者の血液から医薬品を製造する動き

武田薬品(4502)は、人の血液から作り出される医薬品(血漿分画製剤)の開発を複数社と締結して臨床開発に着手、年内実用化を目指している。これは、回復患者から血液の提供を受ける必要がある。アムジェン(AMGN)も、アダプティブ・バイオテクノロジーズと提携し、武田薬品と同様の動き。グラクソ・スミスクライン(GSK)はヴィル・バイオテクノロジー(VIR)と抗体候補の開発を進めている。

## 3. スピード重視で既存薬などからエビデンスを求める動き

注目度が高いのは承認済の薬や開発を断念した新薬候補を、新たなエビデンスに基づき進める流れである。図表1は各種報道で注目度の高い企業の治療薬の開発動向である。

富士フィルムは「アビガン」を日米で治験を開始している。

アビガンは国家備蓄向けに200万人分を約68億円で納入実績があるが、動物実験において胎児に奇形を起こすことが認められていることや、中国での特許が切れており競合品が存在する。また、厚生労働省は承認に対して慎重な姿勢を崩していない。

なお、感染症領域に強い塩野義製薬(4507)は新型コロナウイルスに対する創薬・ワクチン開発を進めている。ただ、ワクチンと治療薬はSARS、MERSでも開発されておらず、医薬品開発は非常に難しいので動向は慎重にみていきたい。

(図表1) 新型コロナウイルスの治療薬候補

コード	社名	製品名 (薬効分類)	治験終了時期
4901	富士フィルム	アビガン (インフルエンザ)	20年6月末
GILD	ギリアド・サイエンシズ	レムデシビル (エボラ出血熱)	20年5月 (初期治験データ)
—	ロシュ	アクテムラ (リウマチ薬)	2020年9月
SNY	サノフィ	ケブザラ (リウマチ薬)	2021年3月
REGN	リジェネロン		
NVS	ノバルティス	ジャカビ (骨髄線維症)	—

(出所) 各種資料を基に内藤証券作成

(注) アビガンは備蓄薬、レムデシビルは開発中断薬  
サノフィとリジェネロンは共同開発  
ノバルティスの治験は北米と欧州を中心に実施

## II オンライン診療と遠隔教育の進展に注目

### 1. オンライン診療は時限的措置で解禁

内閣府の規制改革推進会議では、オンライン診療と遠隔教育などについて審議中。オンライン診療のみで完結させることは医師法違反になりうると厚生労働省から通達されていた。2020年4月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、時限的な対応であるがオンライン診療が開始された。

### 2. 遠隔教育は社会を大きく変える可能性があるだろう

遠隔教育はデジタルの資料配布を原則許諾不要とする著作権法の一部改正を即時に施行するとともに高校・大学での単位取得数の制限緩和などが必要となっている。

実現には、関係省庁や業界団体などとの調整で大きな摩擦も生まれそうなため、実現確度は計りにくい。ただ、遠隔教育の規制緩和は、子供が自宅で学ぶことになる。これは大人の働き方にも影響を与え、社会を大きく変える可能性がある。

### 3. オンライン診療と遠隔教育を推進する企業は多い

オンライン診療と遠隔教育が該当する「対面規制」に加えて、「書面規制」の電子化・オンライン化・簡素化なども挙げられている。オンライン診療は中国が進んでおり、平安健康医療科技やテンセントが出資するウィードクターなどがある。しかし、内需向けの需要のため日系企業とは競合しない。図表2ではオンライン化を推進している主な企業を紹介する。

(図表2) オンライン診療と遠隔教育を推進している主な銘柄

コード	社名	上場市場	東証業種名	区分	備考
2413	エムスリー	1部	サービス	オンライン診療	LINE (3938、貸株制限、監理) とLINEヘルスケアを設立
3834	朝日ネット	1部	情報・通信	遠隔教育	クラウド型の教育支援サービスmanaba (マナバ) 提供
3933	チエル	JQ	情報・通信	遠隔教育	遠隔授業を実現する「InterCLASS Light」の無償提供を2020年5月11日に開始
3998	すららネット	マザーズ	情報・通信	遠隔教育	デジタル学習教材「すらら」の企画開発・販売
4427	EduLab	マザーズ	情報・通信	遠隔教育	教育市場に次世代のソリューションを提案
4480	メドレー	マザーズ	情報・通信	オンライン診療	オンライン診療アプリ CLINICS(クリニック)提供
4699	ウチダエスコ	JQ	サービス	遠隔教育	教育現場のICT基盤を構築
6027	弁護士ドットコム	マザーズ	サービス	書面規制の電子化	電子契約サービス「クラウドサイン」を提供
6034	MRT	マザーズ	サービス	オンライン診療	オンライン診療アプリ「ポケットドクター」提供
6095	メドピア	マザーズ	サービス	オンライン診療	オンライン診療アプリ「first call for オンライン診療」を2020年5月中旬にリリース
9470	学研HD	1部	情報・通信	遠隔教育	教育のICT化に対応するため2014年に学研教育アイ・シー・ティーを設立

(出所) 会社HPを基に内藤証券作成、(注) MRTは規制銘柄、貸株制限

## III 新サービスが大量に生まれることが予想される

東京証券取引所は上場企業に対して新型コロナウイルスの感染拡大による影響を早期に開示するように要請したと報道された。4月中旬までに「After コロナ」として企業の考え方を適時開示で公表している企業はSHIFT (3697)、チェンジ (3962)、カーブスHD (7085) である。

3社の意見をまとめると「ビジネスモデルの軌道修正」、「非接触型サービス需要増」、「価値観とライフスタイルの変化から新しいサービスが大量に生まれる」などの予想をしている。

ICT化が進んだあとの社会に適したサービスを提供しているかという点を意識して企業を見ていきたい。

(高橋)

## IPO

## 株式公開延期が相次ぐ

## ◆直近新規公開銘柄一覧（20年4月23日現在、20年3月1日以降公開分）

(円)

	コード	銘柄	公開市場	公開価格(決定日)	初値	その後の高値	その後の安値	事業内容	主幹事
3/2	7085	カーブス HD	T1	750	670	809	395	女性向けフィットネス運営、ジグザグHDから独立	三菱UFJ
3/4	7084	Kids Smile HD	MT	2,260	2,732	3,495	1,280	東京、神奈川、愛知で保育園・幼児教育	いちよし
3/6	7086	きずな HD	MT	2,320	2,220	2,340	1,618	葬儀施行、同付帯業務、家族葬のファミー	野村
3/6	7087	ウイルテック	T2	1,200	1,200	1,230	512	製造請負・派遣、技術者派遣、受託製造	SMBC日興
3/9	7088	フォーラムエンジニアリング	T1	1,310	1,030	1,048	580	エンジニア人材の派遣・紹介事業	野村
3/10	4490	ピザスク	MT	1,500	1,310	2,580	910	外部専門家からの知見・情報収集を支援	みずほ
3/11	4491	コンピュータマネジメント	JQS	2,750	4,360	4,525	2,410	システム・アプリ開発、インフラ構築、保守運用	SMBC日興
3/13	6231	木村工機	T2	2,400	2,050	3,455	1,687	業務用施設対象の空調システム機器メーカー	みずほ
3/13	7089	フォースタートアップス	MT	1,770	1,628	2,272	1,203	スタートアップ企業へ人材支援、パートナー企業紹介等	野村
3/13	7090	リグア	MT	1,950	1,910	1,977	785	接骨院などの経営支援、保険代理店等	SMBC日興
3/16	7687	ミクリード	MT	890	818	1,620	433	業務用食材等の企画・販売、オンライン通販	みずほ
3/17	7091	リビングプラットフォーム	MT	3,900	3,550	3,585	1,632	介護事業、保育園運営、障害者就労等支援	野村
3/17	7688	ミアヘルサ	JQS	2,330	1,748	2,250	1,020	調剤薬局、介護事業所・保育園の運営	みずほ
3/17	5070	ドラフト	MT	1,580	1,221	1,690	870	オフィス、商業施設、都市開発等の設計・施工	SMBC日興
3/19	4492	ゼネテック	JQS	1,700	1,620	2,140	1,010	組込みソフトウェアのシステム受託開発等	みずほ
3/19	9326	関通	MT	490	1,032	4,680	1,003	Eコマース・通販の配送センター業務代行サービス	みずほ
3/19	5368	日本インシュレーション	T2	940	869	974	648	リトライト系耐火・断熱材料の製販・施工	大和
3/24	5690	リバーHD	T2	960	720	870	510	資源リサイクル、企業の産廃処理引受	野村
3/25	5071	ヴィス	MT	820	754	840	482	企業CIに合わせたオフィス空間の設計デザイン	大和
3/26	7093	アディッシュ	MT	1,230	2,101	3,400	1,378	ソーシャルアプリ開発、投稿モニター、ネットいじめ対策	SBI
3/26	4493	サイバセキリティクラウド	MT	4,500	9,210	45,050	9,150	AI技術活用のサイバセキリティサービス開発等	SBI
3/30	1444	ニッソウ	MC	3,750	2,800	3,250	2,320	賃貸物件原状回復工事・リノベーションより	岡三
3/30	7094	NexTone	MT	1,700	1,660	7,160	1,580	音楽著作権管理、コンテンツ供給、活用促進	SMBC日興
3/31	7095	Macbee Planet	MT	1,830	2,348	3,305	1,615	データ、AIを活用したマーケティング分析	SBI
4/6	7317	松屋アールアンドディ	MT	910	838	3,175	805	IPバッグ、シートベルト等縫合システムの開発・製造	野村

(注) 市場のT1は東証1部、T2は同2部、MTは同マザーズ、JQSは同ジャスダック・スタンダード、MCは名証セントレックス。

東証プロマーケット、リートを除く。売買単位は100株。4月24日現在、ピザスク、ミクリードは信用取引規制銘柄（委託保証金率変更）。

(出所) Bloombergデータ、各社HPより内藤証券作成。

## ◆上場来高値から今年の安値までの下落率が大きく、その後の戻り率が小さい銘柄（公開後2年以内対象）

(20年4月22日現在)

(%)

(%)

コード	社名	業種	市場	下落率	戻り率
4425	Kudan	情報・通信	MT	-91.0	7.5
7074	24セブン	サービス業	MT	-90.0	5.5
7048	ベルトラ	サービス業	MT	-85.9	6.3
4438	Welby	情報・通信	MT	-83.7	17.2
7078	INCLUSIVE	サービス業	MT	-83.2	13.4
7030	スプリックス	サービス業	T1	-82.7	11.1
6557	global bridge HD	サービス業	MT	-81.7	20.7
2978	ツクルバ	不動産業	MT	-80.9	9.9
7681	レオクラン	卸売業	T2	-80.1	14.6
4486	ユナイト&グロウ	情報・通信	MT	-79.5	15.7
4487	スペースマーケット	情報・通信	MT	-79.3	13.5
4388	エーアイ	情報・通信	MT	-78.8	16.5
4437	gooddays HD	情報・通信	MT	-77.5	5.0
7063	エードット	サービス業	MT	-77.0	6.7
7049	識学	サービス業	MT	-77.0	8.6
7050	フロンティアInt'l	サービス業	MT	-75.7	15.0
4428	シノブス	情報・通信	MT	-75.3	17.9
4599	ステムリム	医薬品	MT	-74.4	19.5
4441	トピラスシステムズ	情報・通信	MT	-74.1	17.8
4385	メルカリ	情報・通信	MT	-74.1	19.9

コード	社名	業種	市場	下落率	戻り率
7804	ビーアンドビー	その他製品	MT	-73.4	24.5
9279	ギフト	小売業	MT	-73.3	14.5
7077	ALINKインターネット	サービス業	MT	-73.1	10.6
7035	and factory	サービス業	T1	-72.9	8.7
7060	ギークス	サービス業	T1	-71.8	15.1
3491	GA technologies	不動産業	MT	-71.6	18.7
4420	イーソル	情報・通信	T1	-70.8	17.3
7068	フィードフォース	サービス業	MT	-70.8	5.9
4390	アイ・ピー・エス	情報・通信	MT	-70.8	10.0
6232	自律制御システム研	機械	MT	-70.3	16.6
4393	バンクオブイノベ	情報・通信	MT	-70.2	15.0
4384	ラクスル	情報・通信	T1	-70.2	20.2
4251	恵和	化学	T2	-70.0	13.3

(注) 経営統合、持株会社化による再上場、東証プロマーケットを除く。

市場の記号は上表と同じ。

選択条件は、18年4月22日以降に株式公開した銘柄のうち、上場来高値から年初来安値（20年安値）までの下落率が70%以上。その下落幅に対する、同安値から20年4月22日終値までの戻り率が25%以下。売買代金25日平均3500万円以上。

Kudan、ベルトラ、Welby、ステムリムは信用取引日々公表銘柄。

(出所) Bloomberg データより内藤証券作成。

5月の  
スケジュール

## 経済指標の悪化を織り込んでいるのかを確認

日付	曜日	国内			海外			
		時間	指標・イベント名称	対象期	時間	地域	指標・イベント名称	対象期
1	金	8:30	都区部消費者物価指数(CPI)	4月	23:00	米国	ISM製造業景気指数	4月
						中国	労働節(～5日 ※香港は1日のみ)	
4	月		みどりの日		10:45	中国	財新製造業PMI	4月
					17:30	香港	GDP(速報)	1～3月
					23:00	米国	耐久財受注	3月
5	火		こどもの日		21:30	米国	貿易収支	3月
					23:00	米国	ISM非製造業指数	4月
6	水		憲法記念日(5/3の振替休日)		21:15	米国	ADP雇用統計	4月
7	木	8:50	マネタリーベース	4月		中国	貿易統計	4月
		8:50	金融政策会合議事要旨(3/16分)			米国	共和党大会(～9日、ワイオミング州)	
8	金				21:30	米国	雇用統計	4月
11	月	8:50	金融政策会合主な意見(4/27～28分)	3月				
12	火	14:00	景気動向指数(速報)	3月	10:30	中国	消費者物価指数(CPI)	4月
					10:30	中国	生産者物価指数(PPI)	4月
					21:30	米国	消費者物価指数(CPI)	4月
13	水	8:50	国際収支(速報)	3月	21:30	米国	生産者物価指数(PPI)	4月
		14:00	景気ウォッチャー調査	4月				
14	木	15:00	工作機械受注(速報)	3月				
15	金	8:50	企業物価指数	4月	11:00	中国	固定資産投資/鉱工業生産	4月
					21:30	米国	小売売上高	4月
					22:15	米国	鉱工業生産指数	4月
					23:00	米国	企業在庫・売上高	3月
18	月	8:50	GDP(速報)	1～3月	23:00	米国	NAHB住宅市場指数	5月
19	火	13:30	鉱工業生産(確報)	3月	18:00	ユーロ圏	独ZEW景況指数	5月
					21:30	米国	住宅着工件数	4月
20	水	8:50	機械受注	3月				
21	木	8:50	貿易収支(速報)	4月	3:00	米国	FOMC議事録(4/28～29分)	
					23:00	米国	中古住宅販売	4月
						香港	CPI	4月
22	金	8:30	全国消費者物価指数(CPI)	4月				
25	月				17:30	香港	貿易統計	4月
						米国	戦没者祈念日	
26	火	13:30	全産業活動指数	3月	23:00	米国	消費者信頼感指数	5月
27	水				10:30	中国	工業企業利益	4月
28	木				3:00	米国	米地区連銀経済報告	5月
					21:30	米国	耐久財受注	4月
					21:30	米国	GDP(改定値)	1～3月
29	金	8:30	失業率/有効求人倍率	4月	21:30	米国	個人消費支出・個人所得	4月
		8:30	都区部消費者物価指数(CPI)	5月			WTO一般理事会(ジュネーブ)	
		8:50	鉱工業生産指数(速報)	4月				
31	日				10:00	中国	国家統計局製造業PMI	5月

(注) 赤字は注目指標、緑字は中国関連指標、青字は休場、時間は日本時間。